

随意契約結果(業務委託)

様式13

No.	案件名称	委託種目	契約の相手方	契約金額 (税込)	契約日	根拠法令	随意契約理由 (随意契約理由番号)	WTO
1	財務会計システム機種更新に伴う開発に係る業務	情報処理	富士通Japan株式会社	366,119,600円	令和3年7月1日	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号	G3	—
2	大阪市公金収入報告書電子計算機処理業務の移行支援に係る業務	情報処理	TIS株式会社	6,615,400円	令和3年7月28日	地方自治法施行令第167条の2第1項第2号	G3	—

随意契約理由書

1 案件名称

財務会計システム機種更新に伴う開発に係る業務

2 契約の相手方

富士通 J a p a n 株式会社

3 随意契約理由

現行の財務会計システムは、平成22年に実施した財務会計システム開発・運用・保守業務委託契約にかかる総合評価一般競争入札により決定した、富士通株式会社が有するパッケージソフトウェアを基に、本市独自の要件に見合ったカスタマイズを行い、平成24年3月に本番稼働したものである。

本システムは、予算登録支援から執行管理、決算をはじめ用品管理、電子決裁に至る財務会計事務全般を対象とする全庁にわたる大規模なオンラインシステムである。また、収納・支払業務等、市民サービスにおいて、金融機関との確実な業務連携を実現している本市屈指の重要な業務システムであることから、障害が発生し、処理が遅延した場合、大阪市の会計事務だけでなく、支払が滞るなど市民サービスへの支障を来すことも考えられ、影響範囲がきわめて大きい。

したがって、障害発生時には迅速に対策をとり、その影響を極力最小限に抑えることが常に求められる。また、通常運用においては、安定的稼働が求められることはもとより、機能付加・改修等の新たな課題や要件が発生した場合のシステム対応についても、正確かつ迅速に行う必要がある。これら迅速な障害対応や各種問合せ対応、システム保守業務を行うためには、パッケージソフトウェアの内部構造に精通していることが必須である。

本件業務委託については、財務会計システムの機種更新に伴い、現行のプログラムの一部に業務改善を行うための改修を加えた上で、機種更新後のシステム環境へのデータ移行、設定作業等を行うものであることから、上述と同様、パッケージソフトウェアの内部構造を熟知している業者でないとその対応は不可能である。

富士通 J a p a n 株式会社は、財務会計システムの開発業者であり、パッケージソフトウェアの開発元である富士通株式会社と吸収分割契約を締結しており、自治体向け事業に関する権利義務が令和3年4月1日に承継されている。これにより、本件委託業務におけるソフトウェア資産及びノウハウ並びに商標権、著作権その他の知的財産権並びに契約上の地位及び権利義務についても承継された富士通 J a p a n 株式会社は実質的に本件委託業務内容に精通し、かつ、上述の諸要件を満たす

唯一の業者となることから、同社と随意契約を行うこととする。

4 根拠法令

地方自治法施行令第167条の2 第1項第2号

5 担当部署

会計室会計企画担当（財務会計システムグループ）（電話番号：06-6208-8469）

随意契約理由書

1 案件名称

大阪市公金収入報告書電子計算機処理業務の移行支援に係る業務委託

2 契約の相手方

T I S株式会社

3 随意契約理由

T I S株式会社は、大阪市公金収入報告書電子計算機処理業務の受注者であり、日々発生する収入報告書について、同社が所有する大阪市公金収入報告書データ化システムにおいてOCR帳票の読取り処理及び非OCR帳票のパンチ入力処理によるデータ化処理並びにデータ化済み帳票の仕分け処理を行っている。

大阪市公金収入報告書電子計算機処理業務については、一般競争入札の結果により、令和4年12月から株式会社りそな銀行が運用することになった。運用開始までの間は、株式会社りそな銀行の環境構築期間となるが、同時に現受注者であるT I S株式会社から株式会社りそな銀行へのデータ移行、業務切替え（移管）等の検討が必要であり、その移行要件定義等の決定にはT I S株式会社の支援が必要であるため、本業務委託を行うものである。

T I S株式会社は、前記のとおり大阪市公金収入報告書電子計算機処理業務の現受注者であり、データ移行及び現行業務からの切替え（移管）に向けた移行要件定義等の決定に係る支援業務を遂行できる唯一の業者となることから、同社と随意契約を行うこととする。

4 根拠法令

地方自治法施行令第167条の2 第1項第2号

5 担当部署

会計室会計企画担当（財務会計システムグループ）（電話番号：06-6208-8469）